



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 4 日

上場会社名 株式会社エフピコ

上場取引所 東証・大証 (市場第一部)

コード番号 7947

URL <http://www.fpco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小松安弘

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長

(氏名) 瀧崎俊男

TEL (084)953-1145

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	98,398 (0.8)	5,792 (△22.1)	6,174 (△20.9)	3,896 (△10.8)
19年3月期第3四半期	97,621 (△1.7)	7,431 (27.0)	7,803 (24.5)	4,369 (22.4)
19年3月期	124,233	7,628	8,126	4,515

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	179 23	—
19年3月期第3四半期	199 43	—
19年3月期	206 27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	126,129	52,001	41.2	2,418 67
19年3月期第3四半期	119,648	50,634	42.3	2,319 03
19年3月期	116,232	50,866	43.7	2,329 60

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	1,704	△ 7,755	3,883	6,355
19年3月期第3四半期	26	△ 3,678	△ 937	3,832
19年3月期	8,413	△ 5,493	△ 2,819	8,522

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	28	29	57
20年3月期	28		57
20年3月期(予想)		29	

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

平成 19 年 11 月 9 日発表の通期の連結業績予想に変更ありません。

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	126,000 1.4	7,300 △4.3	7,700 △5.2	4,570 1.2	210 25

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

* 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第3四半期におけるわが国経済は、国内企業業績は堅調に推移し、個人消費も底堅く推移しております。しかしながら、米国を中心とした海外金融市場の混乱や、原油価格をはじめとする原材料の高騰、更に為替の不安定な動きもあり、景況感は先行き不透明な状況となりつつあります。当業界におきましては、当社主力製品の原材料P S（ポリスチレン）価格が前期以降通算4回（6～9次）にもおよぶ値上がりとなり、企業業績を取巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況の下、当社グループは、生産・物流・営業・管理などあらゆる部門で生産性向上とコスト削減に努め、グループ全体で企業体質強化に取り組んでまいりました。原材料価格の値上がりに対しましては、製品の軽量化及びP SからP E T（ポリエチレンテレフタレート）への素材変更による材料費の削減と、社内合理化によるコスト削減に取り組む一方で、自助努力のみでは限界もあり、昨年7月には製品価格の値上げを発表し、製品値上げ交渉に全力で取り組んでおります。

この結果、当連結第3四半期の製品売上高につきましては、高付加価値製品や新機能製品の開発を行う一方で、品質向上にも努めたこと、更には、製品値上げ交渉が一部決着したこと等により、前期を上回ることとなりました。他方、商品売上高につきましては、引き続き、包装資材等の推奨商品への絞込みと不採算取引の見直し等を行ったこともあり減収となり、連結売上高は983億98百万円となりました。

売上高の科目別構成状況

	20年3月期第3四半期	19年3月期第3四半期	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
製 品	73,870	72,280	1,590	2.2
商 品	24,527	25,341	△814	△3.2
合 計	98,398	97,621	776	0.8

利益につきましては、営業利益57億92百万円、経常利益61億74百万円、第3四半期純利益38億96百万円となりました。社内合理化と新製品開発及び製品の軽量化、素材切替に努めてまいりましたが、前期の第2四半期以降に余儀なくされた3回（6～8次）にわたる原料値上がり及び当期第1四半期に決着しました9次の原料値上がりが大きく業績に影響し、減益となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当連結第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より21億67百万円減少し、63億55百万円（前年同期と比べ25億22百万円増加）となりました。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、17億4百万円増加（前年同期と比べ16億77百万円資金増加）となりました。これは、税金等調整前第3四半期純利益62億11百万円と減価償却費34億7百万円、仕入債務26億93百万円等による資金の増加と法人税等の支払額39億18百万円、売上債権66億95百万円の増加等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、中部第二工場・関東八千代センター建設及び機械設備等の支出79億75百万円などにより、77億55百万円減少（前年同期と比べ40億77百万円資金減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、借入金純増による収入62億61百万円等により、38億83百万円増加（前年同期と比べ48億21百万円資金増加）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計期間におきましては、前述の通り、原料価格の急激な上昇という困難な局面において、徹底した社内合理化に加え、製品値上げの交渉に全力を投入してまいりました。値上げ交渉は、当初計画より遅れはありますが、12月にはその効果が現れ、月間ベースでは前年並みの利益水準にまで回復するなど、先行きに復調の兆しが見受けられます。当第4四半期におきましても、引き続き、社内合理化と製品値上げ交渉に経営資源を集中し、利益回復に取組み、経営基盤の安定と強化に努めてまいります。

本公表時点では通期の連結業績予想に変更はありません。なお、今後の原料価格の動向及び製品値上げの進捗状況等により、業績予想の見直しが必要となった場合には、適時発表させていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

たな卸資産については、実地たな卸を省略し継続記録による帳簿たな卸の方法によっております。

5.（要約）四半期連結財務諸表

1.（要約）第3四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

期 別 科 目	前連結第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		当連結第3四半期末 (平成19年12月31日現在)		対前年比較		前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	増減金額	増減率 %	金 額	構成比 %
（資産の部）								
I 流動資産	58,504	48.9	59,265	47.0	761	101.3	53,883	46.4
現金及び預金	3,832		6,355		2,522		8,522	
受取手形及び売掛金	38,514		35,644		△ 2,869		29,331	
たな卸資産	12,772		13,365		593		12,468	
その他	3,550		4,050		499		3,718	
貸倒引当金	△ 165		△ 150		14		△ 157	
II 固定資産	61,144	51.1	66,864	53.0	5,719	109.4	62,348	53.6
有形固定資産	50,066	41.9	57,413	45.5	7,346	114.7	51,220	44.1
無形固定資産	1,359	1.1	975	0.8	△ 384	71.7	1,300	1.1
投資その他の資産	9,719	8.1	8,476	6.7	△ 1,242	87.2	9,827	8.4
1. 投資有価証券	3,794		3,369		△ 425		3,941	
2. その他	6,308		5,425		△ 882		6,299	
3. 貸倒引当金	△ 384		△ 319		65		△ 413	
資産合計	119,648	100.0	126,129	100.0	6,480	105.4	116,232	100.0
（負債の部）								
I 流動負債	51,849	43.3	58,751	46.6	6,902	113.3	50,125	43.1
買掛金	21,910		21,660		△ 250		18,966	
短期借入金	20,791		26,915		6,124		20,862	
未払金	4,996		7,177		2,180		5,717	
賞与引当金	285		401		115		841	
役員賞与引当金	43		54		10		71	
その他	3,821		2,542		△ 1,278		3,666	
II 固定負債	17,165	14.4	15,376	12.2	△ 1,788	89.6	15,240	13.1
長期借入金	14,126		12,758		△ 1,367		12,550	
退職給付引当金	1,191		1,252		60		1,199	
役員退職慰労引当金	653		663		10		665	
その他	1,193		701		△ 491		825	
負債合計	69,014	57.7	74,128	58.8	5,113	107.4	65,366	56.2
（純資産の部）								
I 株主資本	49,849	41.7	51,473	40.8	1,624	103.3	49,993	43.0
資本金	13,150	11.0	13,150	10.4	—	—	13,150	11.3
資本剰余金	15,487	12.9	15,487	12.3	—	—	15,487	13.3
利益剰余金	22,214	18.6	25,015	19.8	2,801	112.6	22,359	19.2
自己株式	△ 1,003	△ 0.8	△ 2,180	△ 1.7	△ 1,176	217.3	△ 1,003	△ 0.8
II 評価・換算差額等	737	0.6	470	0.4	△ 266	63.9	822	0.7
その他有価証券評価差額金	737	0.6	470	0.4	△ 266	63.9	822	0.7
III 少数株主持分	48	0.0	57	0.0	9	119.5	49	0.1
純資産合計	50,634	42.3	52,001	41.2	1,367	102.7	50,866	43.8
負債、純資産合計	119,648	100.0	126,129	100.0	6,480	105.4	116,232	100.0

（注）

前期・当期の第3四半期末及び前期末は金融機関の休日であったため、次の末日満期手形が期末残高に含まれております。

	<u>前第3四半期末</u>	<u>当第3四半期末</u>	<u>前期末</u>
受取手形	2,756百万円	2,307百万円	3,108百万円

2. (要約) 第3四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別		前連結第3四半期		当連結第3四半期		対前年比較		前連結会計年度	
			自平成18年4月1日 至平成18年12月31日		自平成19年4月1日 至平成19年12月31日				自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	増減金額	増減率	金額	百分比		
I 売上高	97,621	100.0	98,398	100.0	776	100.8	124,233	100.0		
II 売上原価	70,857	72.6	73,224	74.4	2,366	103.3	91,061	73.3		
売上総利益	26,764	27.4	25,173	25.6	△ 1,590	94.1	33,171	26.7		
III 販売費及び一般管理費	19,333	19.8	19,381	19.7	48	100.2	25,543	20.6		
販売促進費	1,841		1,903		62		2,450			
広告宣伝費	179		142		△ 37		338			
支払手数料	650		715		64		855			
運搬及び保管費	7,895		7,748		△ 146		10,221			
人件費	4,555		4,786		230		6,090			
賃借料	964		877		△ 87		1,264			
減価償却費	1,112		1,085		△ 27		1,470			
その他	2,132		2,122		△ 10		2,851			
営業利益	7,431	7.6	5,792	5.9	△ 1,638	77.9	7,628	6.1		
IV 営業外収益	628	0.6	686	0.7	57	109.2	881	0.7		
受取利息	93		83		△ 10		116			
受取配当金	51		74		23		51			
受入手数料	60		57		△ 2		80			
その他	422		470		47		632			
V 営業外費用	256	0.3	304	0.2	47	118.7	383	0.3		
支払利息	212		260		47		285			
その他	43		43				98			
経常利益	7,803	8.0	6,174	6.3	△ 1,628	79.1	8,126	6.5		
VI 特別利益	93	0.1	120		26	129.0	802	0.7		
投資有価証券売却益	4		16		12		4			
貸倒引当金戻入益	22		26		3		1			
その他	66		76		10		796			
VII 特別損失	640	0.7	83	0.0	△ 556	13.1	1,212	1.0		
固定資産除却売却損	20		17		△ 3		339			
たな卸資産処分損	254		39		△ 215		491			
過年度役員退職慰労 引当金繰入額	324		—		△ 324		324			
その他	41		27		△ 13		56			
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益	7,256	7.4	6,211	6.3	△ 1,045	85.6	7,716	6.2		
法人税、住民税及び 事業税	2,988	3.1	2,185	2.2	△ 803	73.1	3,418	2.8		
法人税等調整額	△ 110	△ 0.1	119	0.1	230	△ 108.1	△ 227	△ 0.2		
少数株主利益	8	0.0	8	0.0		107.6	9	0.0		
第3四半期(当期)純利益	4,369	4.5	3,896	4.0	△ 472	89.2	4,515	3.6		

3. (要約) 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前連結第3四半期	当連結第3四半期	前連結会計年度
		自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前第3四半期(当期)純利益		7,256	6,211	7,716
減価償却費		3,032	3,407	4,195
減損損失		1	—	1
賞与引当金の増加額(△減少額)		△ 497	△ 440	58
貸倒引当金の減少額		△ 43	△ 27	△ 22
受取利息及び受取配当金		△ 145	△ 158	△ 168
支払利息		212	260	285
投資有価証券売却益		△ 4	△ 16	△ 4
売上債権の増加額 (注)		△ 10,123	△ 6,695	△ 1,177
たな卸資産の増加額		△ 511	△ 897	△ 207
未収入金の減少額(△増加額)		△ 190	401	△ 383
仕入債務の増加額		3,254	2,693	310
未払消費税等の減少額		△ 325	△ 34	△ 362
役員賞与の支払額		△ 58	—	△ 58
その他		1,133	1,016	1,261
小計		2,991	5,720	11,446
利息及び配当金の受取額		145	158	169
利息の支払額		△ 215	△ 255	△ 285
法人税等の支払額		△ 2,895	△ 3,918	△ 2,915
営業活動によるキャッシュ・フロー		26	1,704	8,413
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形・無形固定資産の取得による支出		△ 5,312	△ 7,975	△ 7,362
投資有価証券の取得による支出		△ 85	△ 13	△ 79
投資有価証券の売却による収入		29	33	19
短期貸付金の純増加額		462	3	509
長期貸付金の貸付による支出		△ 715	△ 452	△ 779
長期貸付金の回収による収入		1,923	559	2,160
その他		19	89	38
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,678	△ 7,755	△ 5,493
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額		4,300	4,600	4,600
長期借入による収入		9,600	8,000	9,600
長期借入金の返済による支出		△ 12,965	△ 6,338	△ 14,769
自己株式の取得による支出		△ 691	△ 1,176	△ 692
配当金の支払額		△ 1,095	△ 1,199	△ 1,139
旧更生債務の弁済による支出		△ 71	△ 0	△ 404
その他		△ 13	△ 0	△ 13
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 937	3,883	△ 2,819
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		0	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)		△ 4,588	△ 2,167	101
VI 現金及び現金同等物の期首残高		8,421	8,522	8,421
VII 現金及び現金同等物の第3四半期(期末)残高		3,832	6,355	8,522

(注) 前連結会計年度は、受取手形の流動化を実施しております。このため、前連結会計年度末の売上債権の増加額には、手形債権の流動化によるキャッシュの入金額 3,002百万円が含まれております。